

2026年 3 月期 第 2 四半期（中間期）決算説明会

株式会社 き も と

2026年11月21日

1 2026年3月期第2四半期（中間期）決算について

2 2026年3月期 通期業績予想

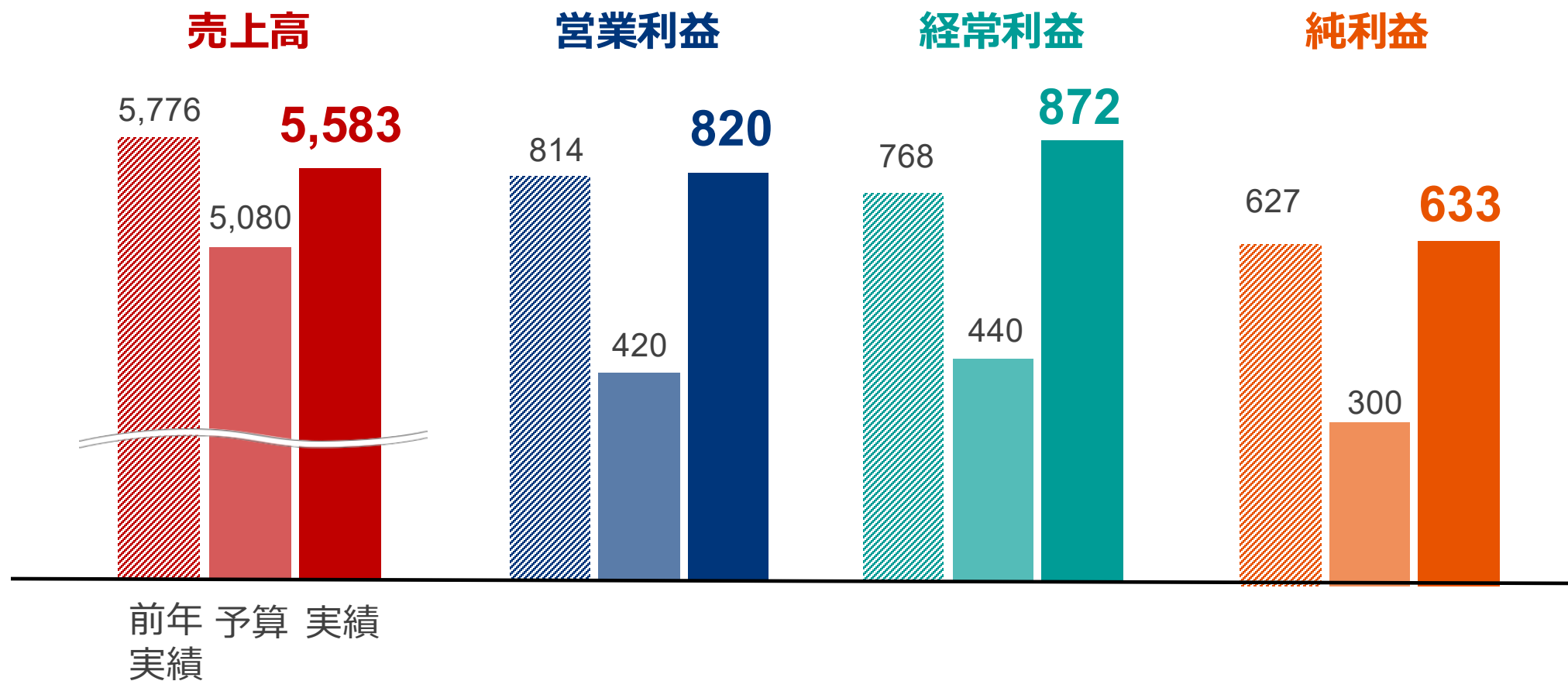
3 高機能材料事業

4 デジタルツイン事業

5 トピックス

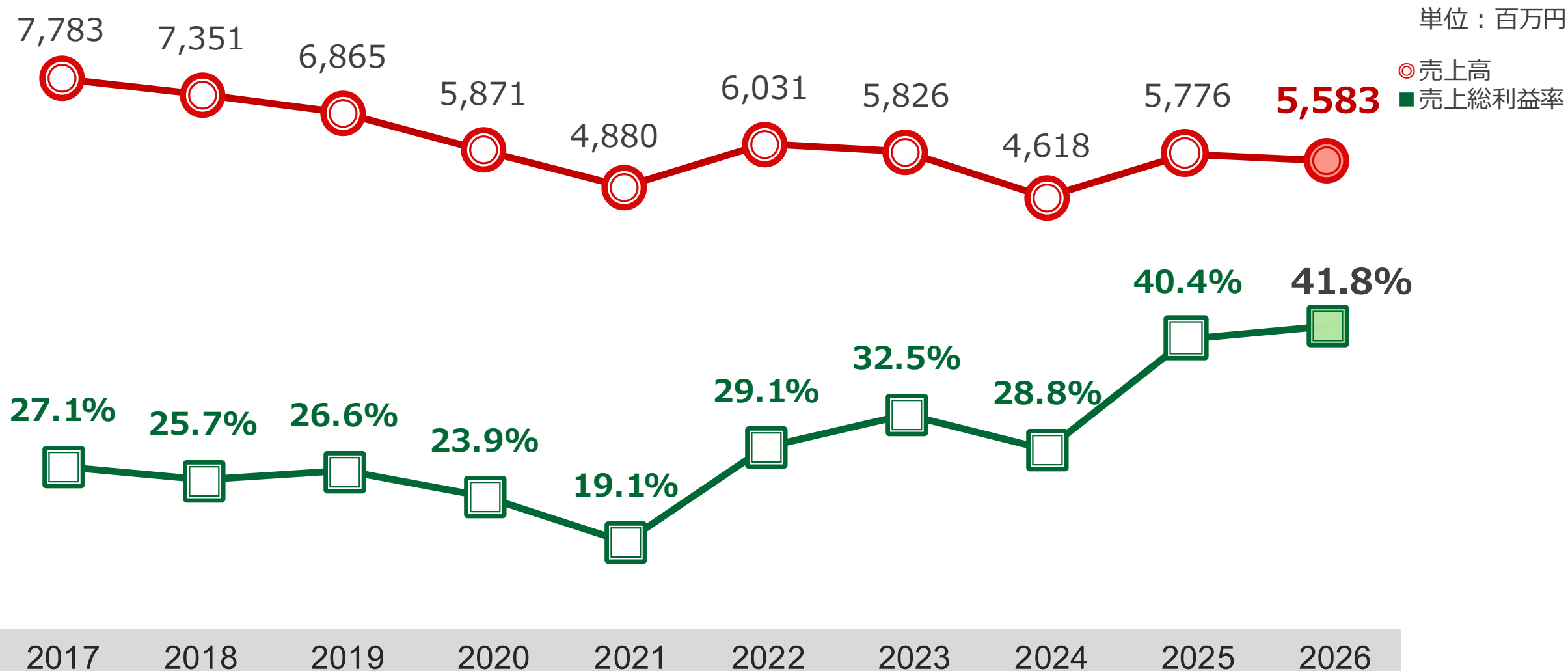
損益計算書 第2四半期（中間期） [連結]

単位：百万円






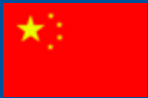
売上高・売上総利益率 [連結]

2017年3月期～2026年3月期 中間期 比較



KIMOTOグループ業績

単位：百万円

		日本	アメリカ	スイス	中国
					
売上高	2026年 3 月期 中間期	5,243	319	264	35
	2025年 3 月期 中間期	1% DOWN 5,284	34% DOWN 486	34% DOWN 398	34% DOWN 54
営業利益	2026年 3 月期 中間期	963	▲ 105	▲ 6	▲ 36
	2025年 3 月期 中間期	829	▲ 24	37	▲ 30

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

【日本】 売上構成

単位：百万円

	2025年 3 月期 中間期	構成比	2026年 3 月期 中間期	構成比	増減	増減率(%)
高機能材料事業	5,177	98.0%	5,161	98.4%	▲ 16	▲ 0.3%
通信機器	2,256	42.7%	2,342	44.7%	86	3.8%
輸送機器	1,145	21.7%	966	18.4%	▲ 179	▲ 15.7%
産業機器	596	11.3%	845	16.1%	249	41.8%
その他	1,178	22.3%	1,006	19.2%	▲ 171	▲ 14.6%
デジタルツイン事業	106	2.0%	81	1.6%	▲ 24	▲ 23.3%
3D	31	0.6%	17	0.3%	▲ 13	▲ 44.8%
2D	38	0.7%	37	0.7%	0	▲ 0.2%
コンサルティング	0	-	8	0.2%	8	2,425.1%
その他	37	0.7%	17	0.3%	▲ 19	▲ 51.9%

【アメリカ】 売上構成

単位：百万円

	2025年 3 月期 中間期	構成比	2026年 3 月期 中間期	構成比	増減	増減率(%)
高機能材料事業	486	100.0%	319	100.0%	▲ 166	▲ 34.2%
通信機器	119	24.6%	73	23.1%	▲ 45	▲ 38.2%
輸送機器	136	28.0%	114	35.8%	▲ 21	▲ 15.9%
その他	230	47.4%	131	41.1%	▲ 99	▲ 43.0%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

【スイス】 売上構成

単位：百万円

	2025年 3 月期 中間期	構成比	2026年 3 月期 中間期	構成比	増減	増減率(%)
高機能材料事業	398	100.0%	264	100.0%	▲ 133	▲ 33.6%
通信機器	41	10.4%	44	17.0%	3	8.6%
輸送機器	206	51.7%	82	31.2%	▲ 123	▲ 59.9%
その他	150	37.9%	137	51.8%	▲ 13	▲ 9.2%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

【中国】 売上構成

単位：百万円

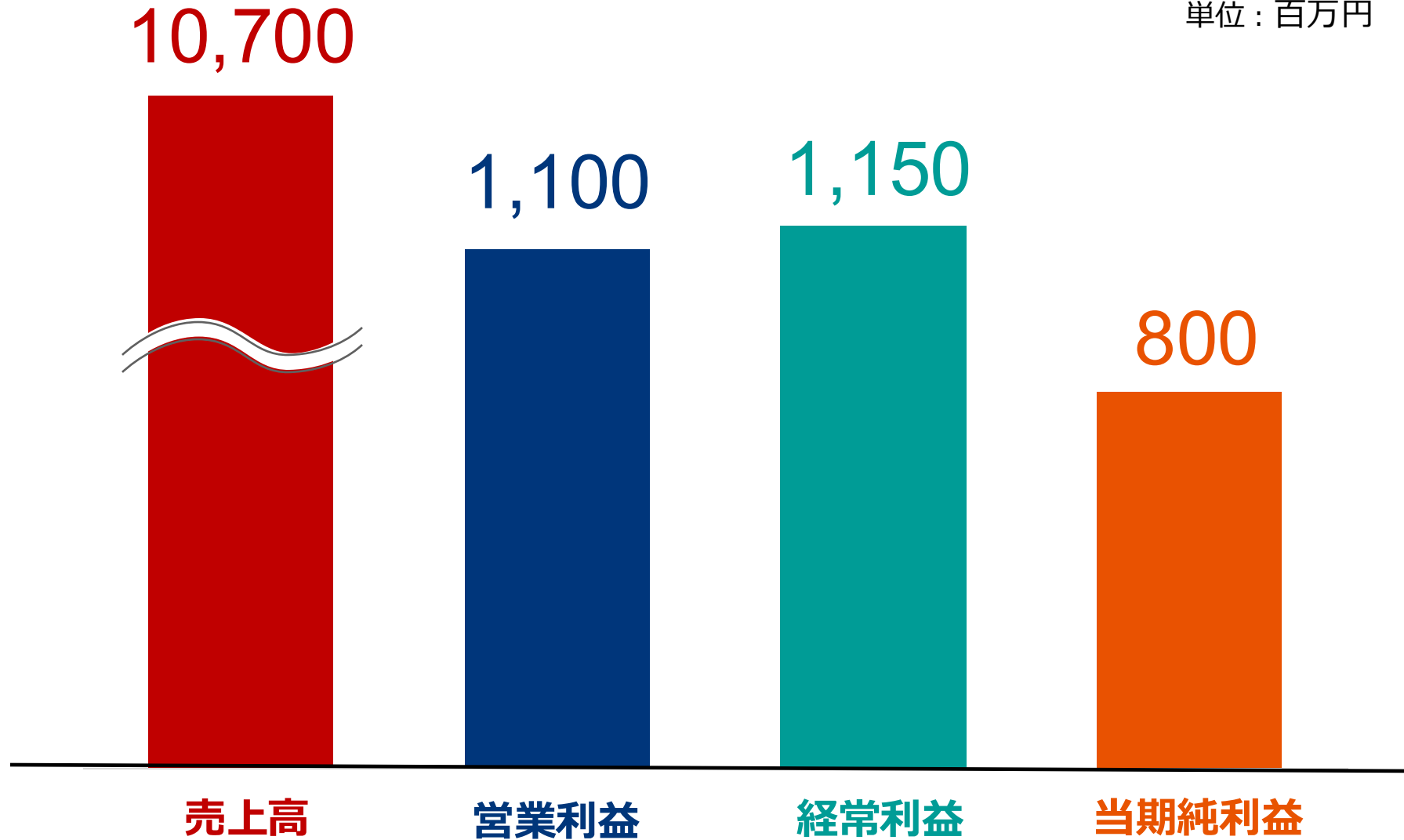
	2025年 3 月期 中間期		構成比	2026年 3 月期 中間期	構成比	増減	増減率(%)
デジタルツイン事業	54		100.0%	35	100.0%	▲ 18	▲ 33.8%
3D	16		29.6%	3	9.7%	▲ 12	▲ 78.4%
2D	33		61.4%	26	73.5%	▲ 6	▲ 20.8%
その他	4		9.0%	6	16.9%	1	24.6%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

- 1 2026年3月期第2四半期（中間期）決算について
- 2 2026年3月期 通期業績予想**
- 3 高機能材料事業
- 4 デジタルツイン事業
- 5 トピックス

通期業績予想 [連結]

単位：百万円



- 1 2026年3月期第2四半期（中間期）決算について
- 2 2026年3月期 通期業績予想
- 3 高機能材料事業**
- 4 デジタルツイン事業
- 5 トピックス

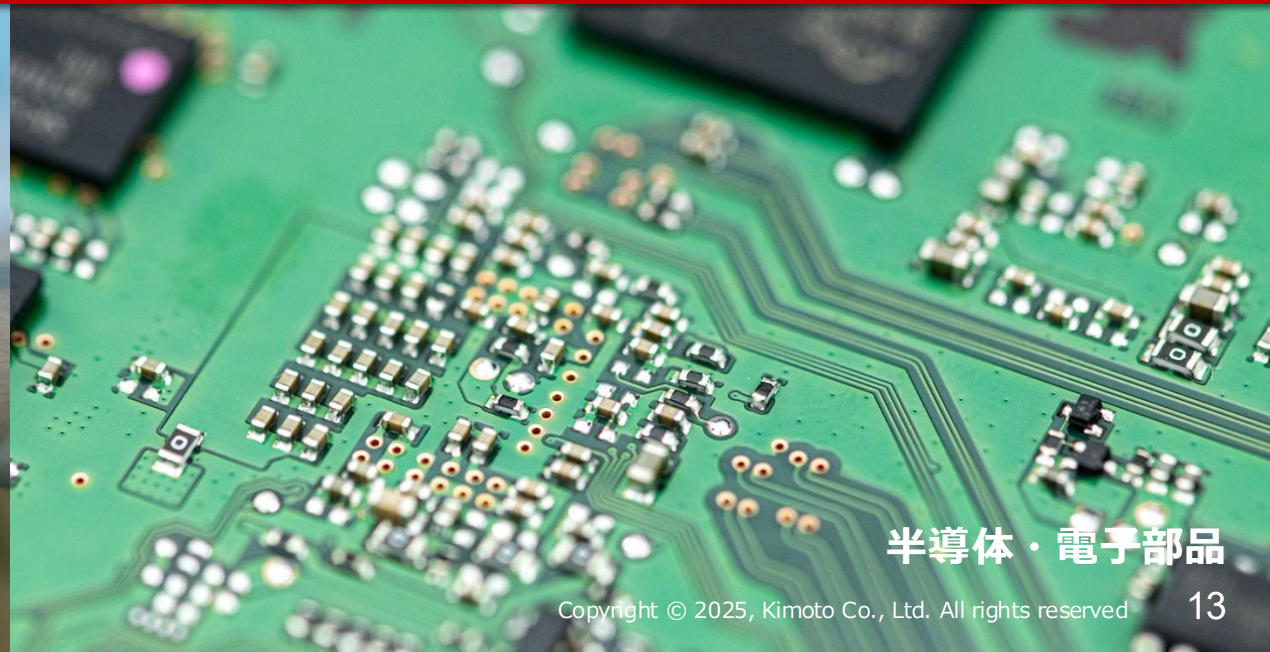


スマートフォン部材

通信機器・産業機器が堅調



機器操作パネル



半導体・電子部品

生産性の向上

■ 多能化と工場DXの推進により、歩留まりと一人当たりの生産性が向上しました。

多能化の推進



歩留まり

1%UP

1人当たりの生産性

20%UP
継続

工場DXの推進



JXの進捗

- JXによる開発分業の仕組みは、完結いたしました。
- 次のステップとしてAIを活用し、業務効率化・自動化を進め、生産性向上を図っております。



JX（改善活動）による開発プロセスの効率化

■ 2年半前から実施してきた開発JXの取り組みにより、開発プロセスの効率化が着実に進んでおります。

※数値は64期比

アウトプット数

180%  UP


新製品の創出が大きく増加

新製品売上額 (上市后4年)

200%  UP

中期的な売上寄与が大きく伸長

製品化までの開発日数

30%  DOWN

開発のリードタイム短縮実現

- 1 2026年3月期第2四半期（中間期）決算について
- 2 2026年3月期 通期業績予想
- 3 高機能材料事業
- 4 デジタルツイン事業**
- 5 トピックス

受託型から創発型ビジネスへのシフト

■コンサルティングやソフトウェアの企画・開発・販売など付加価値の高いサービスをグローバルに展開します。



製造業DX



建設業DX

新サービス SPLAT TWIN

- 先端技術 Gaussian Splatting（ガウシアンスプラッティング）を活用し、写真から高精細で大規模な3D空間を作成する「SPLAT TWIN」サービスを始動いたしました。



建設業



インフラ



製造業

デジタルツイン事業の展開

- 8月、「Automation Taipei 2025」に製造業向けデジタルツイン分野として台湾で初めて出展いたしました。
- 建設・製造・プラント・インフラなど、幅広い業界を対象に、SPLAT TWINのウェビナーを開催しました。



コンサルティングにおける各種イベントへの登壇

カイヤのミライカレッジ 2025 Tokyo/Nagoya



2025年6月・7月

主催：RX Japan株式会
会場：東京ビッグサイト
ポートメッセなごや

**JAPAN LEADERS
SUMMIT 2025 夏 in 東京**



2025年7月

主催：スマートキャンプ株式会社
会場：東京ミッドタウンホール

Smart Work-X 2025



2025年9月

主催：日本経済新聞社
会場：日経ホール

働き方改革講演会 茨城工場



2025年10月

主催：KIMOTO
会場：KIMOTO茨城工場

- 1 2026年3月期第2四半期（中間期）決算について
- 2 2026年3月期 通期業績予想
- 3 高機能材料事業
- 4 デジタルツイン事業
- 5 **トピックス**

2025年度産『実りの百年米』有機JAS認証（転換期間中）取得

- 一部の圃場（全圃場の30%）にて、有機JAS認証（転換期間中）を取得することができました。
- 対象のお米は、有機JAS認証（転換期間中）マーク入りの新ラベルにて出荷しております。



転換期間中 有機栽培米 コシヒカリ



全国愛農会
認証番号 24-61

有機JAS認証米生産量
9,187 t
わずか **0.12%**

国内では生産量が
極めて少ないことから
希少価値の高いお米です

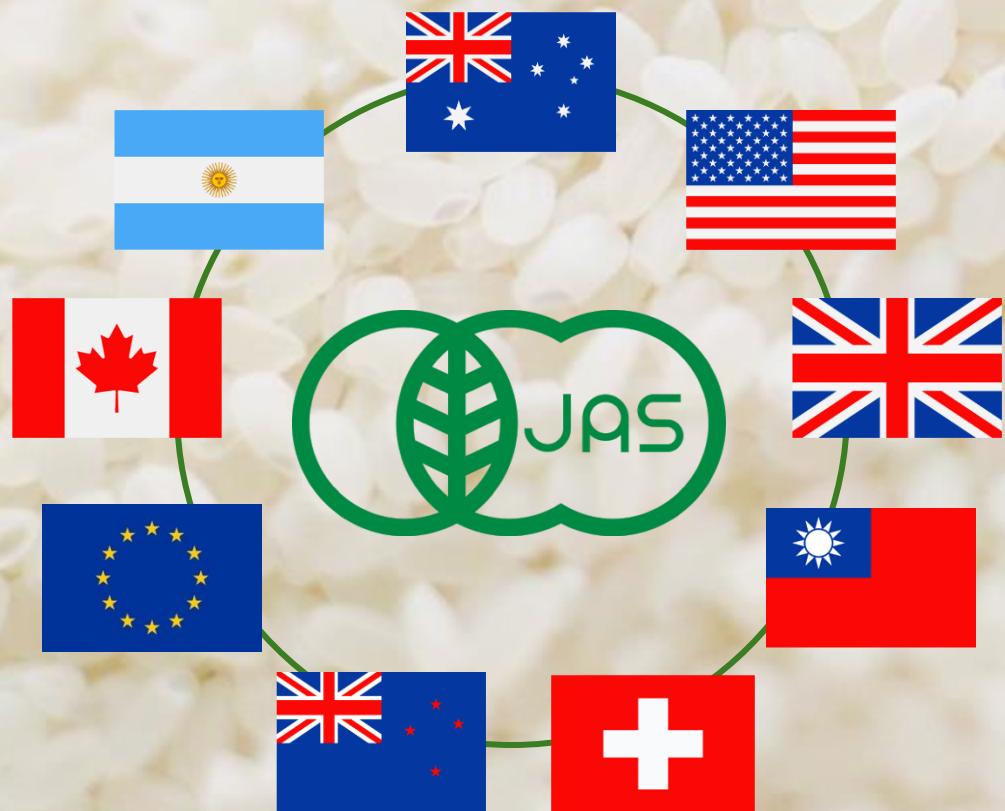
令和5年度
国内総生産量
7,911,000 t

有機JAS未認証米生産量
7,901,813 t
(慣行栽培米、特別栽培米等)

出典元：農林水産省「有機農業をめぐる事情 R7年10月」
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/yuuki/attach/pdf/index-161.pdf>

有機JAS認証米の海外輸出の状況

- 日本の有機JAS認証は、一部の国で同等制度として認められており、相手国でもオーガニック製品として輸出・販売することが可能です。
- 2023年より、当社グループの海外拠点であるスイスへ向けて輸出を実施しており、本年度産も引き続き輸出する予定です。



2025年度産
予定輸出量

2,000kg



2025年度産『実りの百年米』国内店頭販売価格

- 昨年同様、東京都内、愛知県内の店舗にて販売しております。
- 有機JAS認証の取得により、東京都内の2店舗では、店舗運営者であるお米マイスターの方々から高い評価をいただき、「南魚沼産コシヒカリ」ブランド米と同等の価格帯で販売していただいております。（店舗のみ）

愛知県名古屋市内
スーパーマーケット 計7店舗

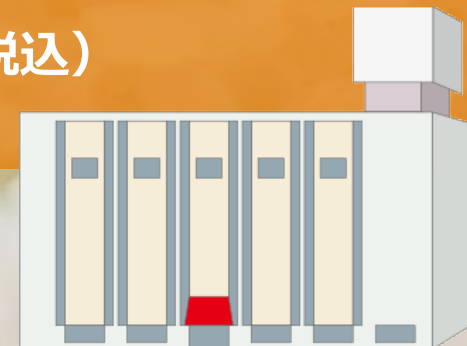
有機JAS認証米 販売価格

2kg 4,298円（税込）

東京都
松屋銀座 / 渋谷マークシティ

農薬・化学肥料不使用栽培米 販売価格

2kg 5,400円（税込）



地域社会への貢献活動

- 三重工場を拠点に、地域の皆さまと向き合いながら、農業・観光・株主のみなさまとの交流を組み合わせた持続可能な地域貢献を推進しております。

株主優待米 出荷量

2025年度出荷量

2,760 kg

* 11月14日時点
(総収穫量13,400kg)

ダリア園 来園者

4,953 名

ダリア園 摘み取りイベント 来園者

546 名

(株主様 23名)

日経サステナブル総合調査 スマートワーク経営編

3.5星認定 ★★★★★



2026年3月期 第2四半期（中間期）の進捗

■ 施策は概ね計画通りに進捗しており、IT・DX、環境対応、人材基盤の強化が着実に前進しています。

IT・DX戦略

全従業員が
利用可能なAIの導入



KIMOTO GROUPポータルサイト内画面

環境対応

エネルギー使用量の
計測・見える化を開始



見える化ツール 画面イメージ

企業マネジメント

次世代リーダー育成に向け
グループ横断の研修を実施



11月初旬開催 次世代リーダーシップ研修



つながる“すべてのモノ”が環境にやさしくあるために
私たちのノウハウで貢献する未来

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものであります。
実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果となる可能性があります。